

## 令和5年度 岐阜市障害者総合支援協議会 専門部会（テーマ別分科会） 上半期 実施報告

## ◆第1回

日時	令和5年6月6日（火） 午後3:30～午後5:00										
場所	市役所6-1大会議室										
テーマ	（仮）岐阜市サポートブック forever ～親亡き後・災害時など緊急時に備えて～										
参加	<table> <tr><td>関係団体</td><td>13名</td></tr> <tr><td>関係機関</td><td>6名</td></tr> <tr><td>一般・特定・障害児相談支援事業所</td><td>15名</td></tr> <tr><td>指定管理、委託事務所</td><td>6名</td></tr> <tr><td colspan="2" style="text-align: right;">（合計：40名）</td></tr> </table>	関係団体	13名	関係機関	6名	一般・特定・障害児相談支援事業所	15名	指定管理、委託事務所	6名	（合計：40名）	
関係団体	13名										
関係機関	6名										
一般・特定・障害児相談支援事業所	15名										
指定管理、委託事務所	6名										
（合計：40名）											
内容	<p>令和4年度第6回専門部会にて、障がい者の親なき後を見据え、乳児期から本人のことをトータルで理解し、一貫した支援が受けられ、将来その情報が必要になった時様々な場面で活用できるツールとして生涯活用していけるように、「エンディングノート」の内容を加えて、岐阜市サポートブックを進化させていこうと検討した。また、第7回専門部会では、緊急時や災害時に活用できることも見据え、その備えとして、基本情報をまとめたシートなど、「（仮）岐阜市サポートブックforever」に記載すると良い内容について協議した。</p> <p>今回は、「（仮）岐阜市サポートブックforever」を生涯活用できるものへと改訂するために、より実践的な取り扱いや周知の方法も含み協議した。</p>										
成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「サポートブック」の配布と活用状況について確認し、「（仮）岐阜市サポートブックforever」に対する思い等、共通認識を深めた。</li> <li>・「（仮）岐阜市サポートブックforever」が、不安解消につながるツールとなり、当事者や家族だけでは記載が困難な場合もあるため、相談員等と一緒に作っていけると良い。</li> <li>・県や他市と共同し、一括して作成すると良いのではないかと。</li> </ul>										

## ◆第2回

日時	令和5年7月4日（火） 午後3:30～午後5:00														
場所	市役所6-1大会議室														
テーマ	障がい者虐待防止について														
参加	<table> <tr><td>関係団体</td><td>1名</td></tr> <tr><td>一般・特定・障害児相談支援事業所</td><td>21名</td></tr> <tr><td>日中活動サービス</td><td>9名</td></tr> <tr><td>短期入所</td><td>4名</td></tr> <tr><td>共同生活援助</td><td>6名</td></tr> <tr><td>障害者支援施設</td><td>1名</td></tr> <tr><td colspan="2" style="text-align: right;">（合計 42名）</td></tr> </table>	関係団体	1名	一般・特定・障害児相談支援事業所	21名	日中活動サービス	9名	短期入所	4名	共同生活援助	6名	障害者支援施設	1名	（合計 42名）	
関係団体	1名														
一般・特定・障害児相談支援事業所	21名														
日中活動サービス	9名														
短期入所	4名														
共同生活援助	6名														
障害者支援施設	1名														
（合計 42名）															
内容	<p>虐待の防止や早期の対応等を図るためには、市町村や都道府県が中心となって、関係機関との連携協力体制を構築しておくことが重要である。今回、虐待の予防、早期発見、見守りにつながるネットワークの構築のため、虐待防止に関する各関係機関の対応や支援、早期発見等について、主に現場で支援している職員間で協議した。</p>														
成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・呼称など小さなことから発展していくこともある。支援に対する正しい答えは一つではないと思うため、何か引っかかるころがあれば、みんなで話し合っていくことが大切である。</li> <li>・通報や相談をしようか迷ったら、まずは障がい福祉課（虐待防止センター）へ連絡する。</li> </ul>														

◆第3回

日時	令和5年9月21日(木) 午後3:30～午後5:00
場所	市役所6-1大会議室
テーマ	精神障害者にも対応した地域包括ケアシステムについて
参加	精神科医療機関 3名 精神科クリニック 2名 訪問看護事業者 8名 関係団体・機関 9名 基幹相談支援サテライト 3名 行政機関 8名 (合計 33名)
内容	精神障害者にも対応した地域包括ケアシステム(以下、「にも包括」)の強化に向けて、各医療機関、関係機関、団体が担っている役割や課題を相互に理解することで、ネットワークを強め、地域で支えていくために、どのようなことができるのかを協議した。
成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「にも包括」の概要について出席者間で共有し、岐阜市の「にも包括」構築に対する考え方や精神保健の概念について確認した。</li> <li>・岐阜市における相談支援体制について確認した。</li> <li>・関係機関の相互理解が進むことにより、支援間の隙間が埋まり、ネットワークの網目が細くなる。そのことが地域で支えることにつながる。</li> <li>・各機関が連携することにより、チームでの支援となる。そのことは、支援者の孤立化を防ぎ、当事者に対し継続的な支援がしやすくなる。</li> <li>・「にも包括」の推進のためには、地域で支える人達から意見を聞き、地域課題を見つけていくことができるとよい。またその課題解決のために、今回のような協議会で協議する場を継続に実施していく必要がある。</li> </ul>

◆第4回

日時	令和5年9月30日(土) 午前10:00～午後4:00
場所	岐阜市民会館 2階 展示ギャラリー
テーマ	岐阜市就労支援事業所説明会
参加	就労支援事業所 第1部 就労継続支援B型事業所 21か所 第2部 就労移行支援事業所 9か所 就労継続支援A型事業所 17か所 就労継続支援B型事業所 19か所 福祉相談(基幹相談支援サテライト) 第1部 2か所 第2部 2か所 超短時間雇用相談 岐阜市超短時間ワーク応援センター
内容	岐阜市在住の障がいのある人やその家族で、就労支援事業の利用に関心がある人を対象に開催した。 岐阜市内の就労移行支援事業所9か所、就労継続支援A型事業所17か所、就労継続支援B型事業所40か所の事業所の参加協力を得て開催した。
成果	参加した事業所のアンケート結果から、とても良かった、良かったという評価が半数を超え、有意義な機会として捉えられた。 周知方法としては、広報ぎふ、岐阜市咲楽、岐阜市ホームページへの掲載や岐阜市公式SNS(Facebook・LINE・X(旧Twitter))を活用した広報活動を行うとともに、チラシを作成し庁内関係部署、市の出先機関、地域包括支援センター、公共職業安定所、特別支援学校を含む関係機関、市内の相談支援事業所等へ配布・配架依頼をし参加を促した。 その結果、第1部は45名、第2部は54名の来場者となった。